

あそんで 作って くふうして

配当時数	15 時間	配当時期	2 年 9-10 月	教科書ページ	下巻 p46-55
特に中心となる内容	(6)自然や物を使った遊び				
単元の目標	身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、遊びや動くおもちゃをつくることのおもしろさ、身近にある物やおもちゃの動きの不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとする。				
単元の評価規準	<u>知識・技能</u> ・身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、遊びや動くおもちゃをつくることのおもしろさ、身近にある物やおもちゃの性質の不思議さに気付いている。 <u>思考・判断・表現</u> ・身近にある物を利用して遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくっている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> ・身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとしている。				

小単元の目標	学習活動	重点評価規準
あそんで 作って くふうして あつめた もの で あそんで みよう 3 時間／下 p46-49 目標 身近にある物を利用して遊ぶことを通して、さまざまな方法を試したり、ルールを作ったり工夫したりすることで、身近にある物の特性に興味をもち、楽しみながら遊びを考えようとするができるようにする。	①集めた物を見ながら、どんな特徴があるか、どんなことができそうか出し合う。 ・教科書などを見て、身近にあるどんなもので遊べそうか考える。 ・集まった物について気付いたことを話し合い、遊びや、遊び方をイメージし、遊ぶことに期待感をもつ。 ②集めた物の特徴を生かして遊ぶ。 ・集めた物に自由に触れ、積む、並べる、転がすなどして、存分に遊ぶ。 ・教師は、「つむ」「ならべる」「ころがす」などの遊びのヒントとなるキーワードを児童から引き出したり、助言したりする。 ・教師が「誰が高く積めるかな。」など、競争につながるような声かけをすると、児童の意欲が高まる。	<u>思考・判断・表現</u> ・さまざまな遊び方を試したり、ルールを作ったりしながら、工夫して楽しく遊んでいる。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> ・身近にある物の特性に興味をもち、楽しみながら遊びを考えようとしている。
うごく おもちゃに ちょうせんだ 5 時間／下 p50-51 目標 動くおもちゃ作りを通して、動きを確かめたり、遊び方を考えたりして試行錯誤するとともに、安全や整理整頓を心がけながら、おもちゃの仕組みに興味をもち、進んで動くおもちゃ作りに挑戦することができるようにする。	①教師が準備した、いろいろな動くおもちゃの原型で遊ぶ。 ・動きに興味をもたせるため、教師が簡単な仕組みのおもちゃの原型を見せ、「遊んでみたい。」「どんな仕組みになっているんだろう。」という思いをもてるようにする。 ②試行錯誤しながらおもちゃを作ったり、遊びを考えたりする。 ・教師は、材料や道具のあるコーナーと、いっしょに遊ぶコーナー（スタートラインのある場、高さを比べる指標のある場、坂道など）を設置し、試行錯誤しながらおもちゃを作ったり、おもちゃで遊んだりできるようにする。	<u>知識・技能</u> ・おもちゃを作ったり遊んだりするとき、安全に配慮しながら必要な道具を適切に使ったり、整理・整頓を心がけたりしている。 <u>思考・判断・表現</u> ・動きを確かめたり、遊び方を考えたりして試行錯誤し、楽しく遊べるおもちゃを作っている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> ・動くおもちゃの仕組みに興味をもち、動くおもちゃ作りに自ら進んで挑戦しようとしている。

<p>じまんの おもちゃに しょう</p> <p>6 時間／下 p52-53</p> <p>目標 おもちゃの改良や友達どうして遊ぶことを通して、試行錯誤したり友達のおもちゃと比べたりしながら、材料や作り方によって動きが変わるおもしろさや不思議さに気付き、自分の目ざすおもちゃになるよう、粘り強く挑戦することができるようにする。</p>	<p>①自分で作った動くおもちゃを改良する。</p> <ul style="list-style-type: none"> おもちゃの改良方法が分からず困っている児童には、教師が「こんな材料もあるよ。」とヒントを示したり、「○○さんもやっているよ。」と声をかけて交流を促したりするとよい。 おもちゃ作りの工夫だけではなく、みんなで遊びを楽しむ工夫（ルールを作る、点数をつけるなど）も大切にする。工夫を共有できるよう、適宜みんなの前でおもちゃや遊びを紹介する。 <p>②友達のおもちゃで遊んだり、友達と一緒に遊んだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分と同じ仕組みのおもちゃを作った友達だけではなく、自分とは違う仕組みのおもちゃを作った友達とも交流するようにする。 	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料や作り方を変えることによりおもちゃの動きが変わるおもしろさや不思議さに気付いている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤して改良したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、おもちゃ作りに取り組んでいる。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の目ざすおもちゃになるよう、粘り強く挑戦するとともに、友達と関わりながら、楽しく遊ぼうとしている。
<p>じまんの おもちゃが できたかな</p> <p>1 時間／下 p54</p> <p>目標 おもちゃ作りに粘り強く取り組んだことを自覚するとともに、身近な物を使って遊びをつくり出すおもしろさを実感することで、これからもみんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとすることができるようにする。</p>	<p>①活動を振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの記録などを見ながら、友達との対話の中で活動を振り返り、本単元でしたことや、もっとやってみたいことなどを書く。 	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> おもちゃ作りに粘り強く取り組んだことを自覚するとともに、身近な物を使って遊びをつくり出すおもしろさを実感することで、これからもみんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとしている。
<p>みの 回りの ものを大切に つかおう</p> <p>配当外／下 p55</p> <p>目標 環境に配慮した取り組みについて話し合うことを通して、自分の身の回りにある取り組みに気づき、自分でできそうなことを広げようとするができるようにする。</p>	<p>①SDGsなど、環境に配慮した取り組みについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した取り組みについて、教科書 p55 や別冊「ひろがるせいかつじてん」p5 を見て話し合う。 SDGs などの環境に配慮した取り組みについて、ごみの分別やリサイクル、資源・道具を大切に使うことなど、何ができるか考える。 教師は、学校生活や家庭での生活においても、身の回りの物を大切に使うよう、日常的に声かけを行う。 	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りには、環境に配慮した取り組みがあることに気付いている。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した取り組みに関心を持ち、自分でできそうなことを広げようとしている。